

第117回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和4年4月5日(火) 9:40~10:00	場所	WEB
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、北村議会事務局長、堤企画政策課長、石原健康課長、田嶋新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株の特徴を踏まえた今後の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について ・オミクロン株等の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定等の実施方針について(協力依頼) ・東京都において実施するオミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施方法について 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染について、より感染力の強いBA2への移行が顕著である。感染者の4割がBA2といわれている。GW前後に感染がより拡大するとみられ予断を許さない状況である。 ・本市における感染者の累計は、4月4日時点で8,196人となっている。本市の人口に当てはめると約15人に1人が感染している計算である。10代20代の若者の感染も目立っており、若者世代の感染増加が全世代の感染増加につながると指摘する専門家もいる。引き続き自宅療養者への支援にご注力願いたい。 ・ワクチン接種については、若者の接種促進に向け予約不要の接種日を設けているため、情報発信をさらに強化する。 ・ワクチンの誤接種について。3月31日、市内医療機関で誤接種が発生。10歳の子に対して成人と同等のファイザーワクチンを接種したというものである。本来、5~11歳のワクチンは旧西友のみでの実施であるが、本件は医療機関の予約システム、接種当日の受付及び予診もチェック機能が機能しなかったことから、結果的に誤接種につながった。ご本人は今のところ健康とのこと。医療機関からは接種当日にご家族にお詫び申し上げている。この事態を受けて医師会では、契約医療機関に注意喚起と再発防止の通知を送り、今後の防止策に努めている。なお、本件についてはマスコミ各社にプレスリリースを行い、議会各会派にも報告済である。 <p>1 各部連絡事項 (健康課長)</p>				

【濃厚接触者に対する特定及び行動制限並びに積極的疫学調査について】

- 都の新たな方針を資料を基に説明。主な点は次のとおり。
 - 家庭内の濃厚接触者に対する積極的疫学調査の実施。
 - ハイリスク施設における濃厚接触者への積極的疫学調査の実施
 - 高齢者・障がい者等の通所施設、保育所等における濃厚接触者への積極的疫学調査の実施

(子ども家庭部長)

- 保育所については、これまでどおりの対応と認識している。

(健康課長)

- 多摩府中保健所管内の感染者数は都内でも1～2番目に多いことから、都の方針のどおりにいかないのが現状である。

(市長)

- 濃厚接触者の行動制限について。行動制限4日目と5日目に抗原検査で陰性となれば、5日目に社会活動へ復帰できるとなっている。抗原検査キットはどのように入手するのか？

(健康課長)

- ドラッグストアで入手が可能であるが、体外診断用医薬品である必要があり、その在庫状況は調査したい。

(総務部長)

- 本件について、職員課と情報共有してほしい。

【東京農工大における東京都 PCR 棟検査無料化事業の報告について】

- 2月21日から3月18日までの間に21日間稼働し、2100件の検査が行われた。

【職員の感染状況について】

(総務部長)

- 職員の月別感染状況は以下のとおりである。

1月…9人

2月…48人

3月…21人

※4月は既に1名の陽性者がいる。

引き続き感染対策の徹底に努めていく。

(教育長)

- ・ アフターコロナを見据えて、コロナを理由に中止・変更していたものの再開時期を視野にいれるべき。

(副市長)

- ・ 職員の感染者が増えると市民生活に影響がでるため、引き続き感染状況を注視する必要がある。

(以上)